

また「あの人」に会いに来たくなる春休み

海と山に囲まれた石巻
共に暮らす中で汗を流し、学び、たのしむ——
滞在する中で生まれる交流
そこに生きる人と「Co=共に」一歩前に。

かけがえのない“出会い”があなたを待っています。

新しい「ボランティア」のカタチ イマ、ココプロジェクト。 *Ima Co-Co project*

■お手伝いしながら「浜」の暮らしを体験

今なお多くの人手と知恵を必要としている被災地・石巻の漁村地域。基幹産業である漁業の復興と漁師の生活再建を共に後押しする「イマ、ココプロジェクト。」では、「お手伝いとしての労働力」を提供する参加者と「現地での寝場所と食事(食材)」を提供する漁師をプロジェクト事務局がマッチング。今までになかった滞在型だからこそできる交流が、「かけがえのない体験」を双方にもたらす新しい「ボランティア」のカタチを提案します。

「人手があれば効率良く仕事が出来るのに」「多くの人に現状を知ってもらいたい」「もっと他地域の人と交流したい」という漁師の願いと、「田舎暮らしを体験してみたい」「被災地の現状を学びたい」「震災後今まで関わってこなかったけど、自分にもできることがあるのかな」なんていうあなたからの声を「ヒトツナギ」するお手伝いをします。



■ Facebook

<https://www.facebook.com/ima.coco.project>



■ WEBサイト

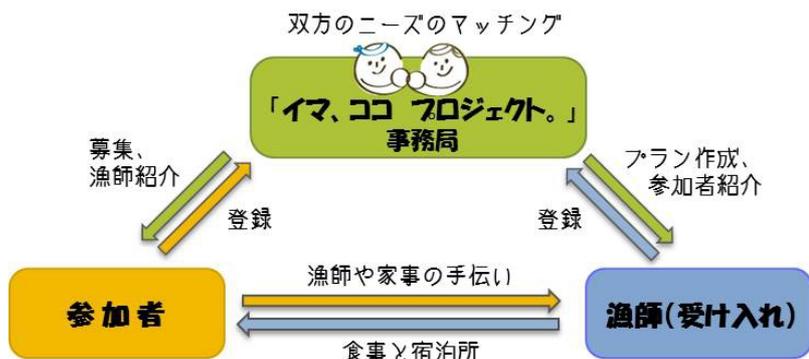
<http://pbv.or.jp/ishinomaki-psen/imacoco/>



PEACE BOAT 一般社団法人
ピースボート
災害ボランティアセンター

出会うことで生まれる 交流のカタチ 知ること、考えること、行動すること

浜での生活体験を楽しみながら、共に学び合い、友人として、仲間として、家族として、これまであった「支援する側」↔「支援される側」という垣根を乗り越え、共に前を向いて歩みませんか。かけがえない出会いがあなたを待っています。今、ここから自分だけの新しい「石巻との関わり方」が見えてくるのかも。



参加の流れ

まずは、facebook・ウェブサイトでプロジェクトの様子や募集要項などの詳細をチェック!!

- 参加申込**
ウェブサイトにて参加条件などを確認して参加申込。
- 受入確定**
受入が確定したら、事務局よりご連絡！ウェブサイト準備物を確認して出発に備えてください。
- 石巻にて**
初日、ピースポートセンターいしのまきに集合！オリエンテーションを受けた後、いよいよ受け入れ先となる「浜」へと出発！
- 活動開始**
浜での生活体験のスタート。作業以外の時間の過ごし方はあなた次第！
※活動期間中、担当者が訪問します。
- 最終日**
最終日、浜での手伝いが終わったらピースポートセンターへ。フィードバックセッションの後、解散。お疲れ様でした！

※初日と最終日のピースポートセンター↔活動場所の移動には送迎があります。

参加費

参加の際の集合場所は、ピースポートセンターいしのまきとなります。指定の集合時間までに各自集合して下さい。

事務手数料
3,000円

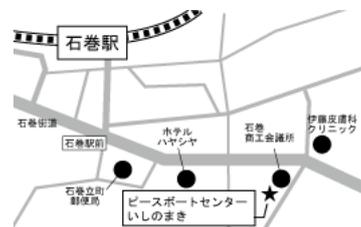
+

装備品レンタル料
(水産合羽+グローブ+長靴)
1,000円
希望者に作業に必要な装備品のセットでの貸出を行っています。



お問い合わせ

一般社団法人 ピースポート災害ボランティアセンター
ピースポートセンターいしのまき
「イマ、ココプロジェクト。」事務局 (10:00~19:00/金曜定休)
〒986-0824 宮城県石巻市立町1-5-21 TEL:0225-25-5602 / FAX:0225-25-5603
担当：山元崇央 (080-4770-8528)、奥村早苗(080-4770-8616)



※本資料に記載の情報は2012年12月12日現在のものであり、予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

イマ、ココ体験談

大分県から参加
中野 政博 さん (22)

今まで参加してきたボランティア活動とは少し違ってましたね。やっぱり、現場で生活しながらだったから、現状を肌で感じとる事ができたし、作業が終わって飲みながら漁師さんと話したのが最高でした(笑)。とにかく、あそこの時間の流れ方が好きでしたね。最初は不安だったし緊張したけど、初日に見た朝日で不安も吹っ飛びました。漁師さんからもらったムール貝も初めて見たけど、他の参加者と一緒に調理してみて、まじ美味かったです！今も、ちょくちょく連絡取り合ってますよ。やっぱり気になるんですよね。どうしてるかなって。

